

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2023年6月フォーラム(第357回)

- **開催日時**：2023年6月14日(水) 18時00分～19時00分
※終了後19時00分～20時00分に懇親会を実施します。
- **開催形式**：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日約1カ月録画配信
- **配信対象**：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信
- **講師**：山極 寿一 先生
総合地球環境学研究所 所長
- **テーマ**：「人新世の意味をゴリラと考える」
- **講演要旨**：

現代は、人間の影響が地層にはっきりと記録される「人新世」の時代である。長年ゴリラを見続けてきた私の目からは、明らかに文明の行き過ぎだと見える。地球環境は生命の誕生以来、多様な生命の営みと関係によって作られてきた。それが、近年の人為による大規模な開発によって大きな変化にさらされている。このままでは人間が住むのに適さない環境になってしまいかねない危険に直面している。その主たる原因は、私たちが進化の頂点に立つと自画自賛し、人間の都合のいいように環境を作り変えてきたことにある。これまでのように新しい技術にたよる考えを改め、文明の分岐点に立ってこれまでの間違いを正し、新たな思想のもとに世界を組み立てねばならない。そのためには、人類がゴリラとの共通祖先からいったい何を受け継ぎ、700万年の進化の過程でどんな特徴を新しく獲得したのかを理解せねばならない。現代人の文明は1万2千年前から始まった農耕と牧畜に端を発するが、それは人間の本質には程遠い。今、私たちが直面しているのは進化と文化のミスマッチであり、これからは人間の本質に合った文明を築かねばならないということである。それには人間の世界を外から眺め、進化の時間をさかのぼるゴリラの目が必要である。

● 講師プロフィール：

学歴：京都大学理学部卒、同大学院理学研究科修士課程修了、同大学院理学研究科博士後期課程研究指導認定、退学。京都大学理学博士。

職歴：(財)日本モンキーセンター・リサーチフェロー、京都大学霊長類研究所助手、同大学院理学研究科助教授、教授、理学研究科長・理学部長、京都大学総長

専門分野：人類学、霊長類学

主なる著書：『人生で大事なことはみんなゴリラから教わった』（2020年、家の光協会）、『スマホを捨てたい子どもたちー野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』（2020年、ポプラ新書）、『京大というジャンルでゴリラ学者が考えたこと』（2021年、朝日新書）、『猿声人語』（2022年、青土社）など

主なる講演テーマ：共感社会の由来と未来、家族の進化

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/ 無料

録画配信希望のお申込はご不要です。

会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信

録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp (HP：<https://www.senri-life.or.jp/>)